

【参考資料】日本互尊社如是蔵博物館の寄附の申し入れ

【寄附予定物件】

建物	如是蔵博物館(RC造3階 155.92㎡) 櫻心軒(茶室)・管理棟(木造2階 135.31㎡)
土地	5,349.47㎡
所蔵品	野本恭八郎の遺品・書簡・遺墨などの資料のほか、河井継之助、小林虎三郎、山本五十六、小原直、斎藤博などの遺品・遺墨およびその業績を顕彰する資料等一式
その他	什器類一式

◆如是蔵博物館(長岡市福住1丁目3番8号)

如是蔵とは仏教でいう知恵の蔵という意味。野本恭八郎(互尊翁)設立の日本互尊社付設の博物館で昭和14(1939)年に開館。

互尊翁の遺品・書簡・遺墨などの資料のほか、河井継之助、小林虎三郎、山本五十六、小原直、斎藤博などの人々の遺品・遺墨およびその業績を顕彰する資料を展示。水島爾保布や横山大観の作品もある。



◆公益財団法人日本互尊社(長岡市福住1丁目3番8号)

設立年月日

昭和9年11月29日(公益認定:平成25年10月1日)

歴代理事長

反町栄一(初代)、駒形十吉(2代)、原信一(3代)、原和彦(現任)

事業の概要

如是蔵博物館の管理・運営、歴史資料の収集・管理、茶室・庭園の管理

◆野本恭八郎(互尊翁) 1852年～1936年

長岡市の商人。嘉永5(1852)年、上山藩領刈羽郡横沢村(現長岡市小国町横沢)の庄屋・山口家に生まれる。兄は、実業家・政治家の山口権三郎。長岡町会副議長、新潟県会議員、六十九銀行取締役、長岡町学務委員などを歴任。

自分の尊さに気づき、他人も尊重して幸福な世界を築こうという互尊思想を唱え、互尊文庫を市に寄附。また、財団法人日本互尊社を設立した。

